19日本国特許庁

①特許出願公開

公開特許公報

昭54-5785

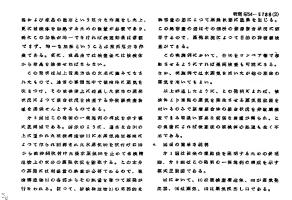
60 Int. Cl.<sup>1</sup> G 01 N 25/72 識別記号 @日本分類 112 H 02 庁内整理番号 7621 - 2G ❸公嗣 昭和54年(1979)1月17日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 2 頁)

<b>②非</b> 破壞檢查装置					養電機株式会社生産技術研究所 內	
②特 ②出 ②光 明	題 題 者	昭52-71260 昭52(1977) 6 月15日 房安徽広 尼崎市南清水字中野80番地 三	09発	明	者	麻生博司 尼崎市南清水字中野80番地 三 菱電機株式会社生産技術研究所 内
		褒電機株式会社生産技術研究所 内	砂出	騢	人	三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内二丁目 2
ធ្យ		広木絵 尼崎市南清水字中野80番地 三	创代	理	人	番3号

従来、なの顕複を利用したものとしては機筋 1. 飛明の名称 法、被品法などが知られている。才1回はこの 非被繼续簽發度 薬輸設を説明するための祭視場で、巡において 2. 存許資泉の範囲 (1) 社直根部材(8) 、 (1) と支持板部材(4) とを振躍剤 (i) 接着接合などで構成された銀検査構造物の 何で接着給合してなる構造物で、この構造物(I) 表面に凝集を吹きつけ、液体を均一に妨碍さ せる蒸気発生器を備え、上記給無铁の水体の の基本組合の自否を確定しようとするものであ る。まず、進品な方法で、この構造物製画に舞 患死状況によつて上記額検査構造物の接合状 辺を検査するようにした非弦線検査装置。 を結びせ、しかる役に例えば面板の焦から路板。 銀外盤 ヒーメ(4) などによつて、国示人のように (3) 液体化水を用いたことを整像とする特許額 あを与える。このとす、必要性の表面では、同 水の紙師サー項配数の非従業検査装置。 一張合衆作であるべる個所で解集の状況に遊臭 8. 强弱力许超左旋引 が生じたならば、解釋の事い個所的は紫合が良 との発明は接着接合をどで構成された解放体 の後合形の非領線検査装置に関するものである。 好であり、振舞の遅い作所側は逆合が不良であ ると共断できる。 優楽器会などで構成された構造物などの接合 前の場合は投を窓前路を寄せするのには頂きの また、疾病性では上途の鞘の代りに被品を物 方法があり、展型的にもいくつかの方式に分類 一に塗石して御食物点物のの面板側の設面の値 反分布を放品の色変化で知り、これによつて接 すれるが、この髪のは彼倫体内の熱流の状況を、 合語の場合の良否を判断する。 その資産体の機能温度分布によつて検知して、 しかしながら、これらの方法ではそれぞれ結 最前はだかける最合状況を知るりとするもので



な事、凶中門一杯分は同一もしくは根場展: を示す。 代道人 裏 野 包 一(ほか1名)

